

第 25 回 日 本 人 口 学 会 大 会

標記の大会は、昭和48年5月18(金)、19(土)の両日にわたり、慶応義塾大学医学部の予防講堂および北里講堂において開催され、準備委員会(代表・安川正彬経済学部教授)の多大の努力によって、盛大な日程を終了した。大会では総会、一般研究発表ならびにシンポジウム、それに、本年度は日本人口学会の創立25周年目に当たるので、それを記念する特別講演が南会長によって行なわれた。なお、シンポジウムのテーマは「人口静止をめぐる諸問題」であるが、これは明1974年が世界人口年であり、国連では第3回世界人口会議の開催を計画している。その会議では世界人口行動計画が策定されるが、中心課題には当然、人口静止が論議的となろうことを想定して、これに先がけ取り上げたテーマである。

大会プログラムは下掲のごとくである。

第1日(5月18日)

○一般研究発表

- | | | |
|----|--------------------------------|-------------------|
| 1 | 都市人口の分布の型について…………… | 鈴木 啓 祐 (流通経済大学) |
| 2 | ライフサイクルからみた婦人労働…………… | 青 木 尚 雄 (人口問題研究所) |
| | | 中 野 英 子 (") |
| 3 | Life Cycle Saving の理論について…………… | 高 木 尚 文 (成 城 大 学) |
| 4 | 農家労働力流出構造の変貌とその問題…………… | 林 茂 (人口問題研究所) |
| 5 | 経済離陸期の人口動態…………… | 大 淵 寛 (中央大学) |
| 6 | 経済成長と産業構造…………… | 畑 井 義 隆 (明治学院大学) |
| 7 | 人口推移率からみた全国都道府県の情勢…………… | 仮 谷 太 一 (川崎医科大学) |
| | | 大 森 健 三 (") |
| 8 | わが国有配偶女子出生力の最近の動向…………… | 小 林 和 正 (人口問題研究所) |
| | | 山 本 道 子 (") |
| 9 | 年齢別推計人口についての一考察…………… | 水 野 坦 (総理府統計局) |
| | | 長 田 富 子 (") |
| 10 | 人口移動の統計的分析…………… | 岡 崎 陽 一 (人口問題研究所) |
| 11 | 国勢調査における社会経済分類別表章について…………… | 大 友 篤 (総理府統計局) |
| | | 石 田 保 夫 (") |
| 12 | 大都市周辺における都市成長前線帯の人口地理学的研究…………… | 岸 本 実 (立 正 大 学) |

○記念講演

人口研究の諸方途——日本人口学会創立25周年記念——……………南 亮三郎 (駒 沢 大 学)

○総 会

○一般研究発表

- | | | |
|----|----------------------------------------------|---------------------|
| 13 | 人口移動と文化の変動…………… | 富 田 富士雄 (関東学院大学) |
| 14 | フランスの人口高齢化と老人福祉対策…………… | 岡 田 実 (中央大学) |
| 15 | アルフレッド・ソーヴィと日本の優生保護法…………… | 室 三 郎 (人口問題研究所) |
| 16 | 平均寿命の延長と人口増加の相関関係について
——人口爆発のメカニズム——…………… | 永 木 春 雄 (日本家族計画協会) |
| 17 | 人口政策の展開…………… | 黒 田 俊 夫 (人口問題研究所) |
| 18 | 世界人口年および世界人口会議と日本の問題…………… | 北 岡 寿 逸 (国 学 院 大 学) |
| 19 | 地域人口の解析…………… | 鈴 木 継 美 (東 北 大 学) |
| | | 松 山 恒 明 (宮城教育大学) |

